

**製品名: RRP4 ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe02557**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	EXOSC2
別名	p7; RRP4; SHRF; Rrp4p; hRrp4p
遺伝子 ID	23404
SwissProt ID	Q13868
免疫原	ヒト RRP4 の合成ペプチド

## 背景

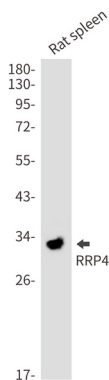
RNA エクソソーム複合体の非触媒成分で、3'→5'エキソリボヌクレアーゼ活性を有し、細胞内の様々な RNA 処理および分解に関与す

る。核内では、RNA エクソソーム複合体は、rRNA、snRNA、snoRNA などの安定 RNA 種の適切な成熟、RNA 処理副産物やアンチセンス RNA 種、プロモーター上流転写産物 (PROMPT) などの非コード性の「遍在性」転写産物、そして処理異常のある mRNA の除去に関与し、それによってそれらの細胞質への輸送を制限または排除する。RNA エクソソームは、転写された dsDNA 基質への AICDA 脱アミノ化活性を標的とすることで、免疫グロブリンクラススイッチ組換え (CSR) および / または免疫グロブリン可変領域体細胞超変異 (SHM) に関与している可能性がある。細胞質において、RNA エクソソーム複合体は、一般的な mRNA のターンオーバーに関与し、3'非翻訳領域内に AU リッチエレメント (ARE) を含む本質的に不安定な mRNA を特異的に分解する。また、RNA 監視経路において異常な mRNA の翻訳を防ぐ。ヒストン mRNA の分解にも関与していると考えられる。9つのサブユニットからなる触媒不活性 RNA エクソソームコア複合体 (Exo-9) は、リボ核酸分解のための RNA の結合と提示において極めて重要な役割を果たし、触媒サブユニットや補助タンパク質または複合体との会合のための足場として機能すると考えられている。Exo-9 複合体の周辺部分である EXOSC2 は、EXOSC4 および EXOSC7 との接触を通じて、RNase PH ドメインサブユニットの六量体リングを安定化させる。

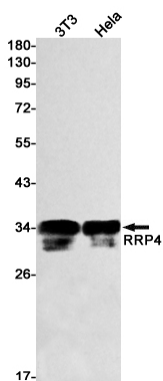
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



RRP4 抗体を使用したラットの脾臓溶解物中の RRP4 のウエスタンブロット分析。



RRP4 抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中の RRP4 のウエスタンブロット分析。